

平成23年度 第5回川崎インターンシップ事業 実施報告

川崎商工会議所 地域産業部

■ 目 次

- ▶ 1. 本事業の目的
- ▶ 2. 今年度の実施概要(参加大学・企業)
- ▶ 3. 今年度のスケジュール
- ▶ 4. アンケート結果報告



■ 1. 本事業の目的

市内7大学・市内企業・川崎商工会議所が連携・協力して、市内7大学の学生に企業での「就労体験」を提供することで・・・

- ▶ ①次世代の“地域経済の担い手”となる人材を育成する。
- ▶ ②就労意識を醸成し、職業選択の一助となる専門知識の習得などを通じて勉学意欲の向上を目指す。



■ 2. 今年度の実施概要(1)

※50音順

○インターンシップ

受入企業(30社)

No.	企業名	受入人数	実習日数	No.	企業名	受入人数	実習日数
1	(株)アーバン企画開発	4名	10日間	16	(株)タムラコーポレーション	1名	5日間
2	(株)アップ総合企画	1名	10日間	17	(財)東京交響楽団	2名	6日間
3	(株)安全ホンダ神奈川(Honda Cars 川崎中央)	3名	8日間	18	東京JAPAN税理士法人	2名	9日間
4	映像のまち かわさき推進フォーラム	1名	5日間	19	(株)日の出製作所	1名	5日間
5	(有)エー企画	3名	10日間	20	(株)ホンダクリオ共立(Honda Cars 川崎/品川)	3名	9日間
6	(株)NTT東日本-神奈川	4名	4日間	21	(株)横浜銀行 川崎支店	6名	5日間
7	(株)LR小川会計	6名	5日間	22	米山ファッションビジネス専門学校	1名	6日間
8	かわさき市民放送(株)	1名	5日間	23	(株)ライフコーポレーション	3名	5日間
9	川崎信用金庫	10名	7日間	24	(株)エヌアセット	3名	5日間
10	川崎鶴見臨港バス(株)	2名	5日間	25	一般社団法人川崎市観光協会	8名	5日間
11	(株)ケイエスピー	7名	7日間	26	(株)KINCARN	4名	10日間
12	(株)経理バンク	2名	9日間	27	サイバーグリーンシステム(有)	2名	4日間
13	(有)佐野商店 セレモニアグループ (株)セレモニア	4名	11日間	28	税理士法人 誠和コンサルティング	3名	5日間
14	ジェクト(株)	1名	10日間	29	(株)三矢研究所	1名	4日間
15	(株)タウンニュース社 川崎支社	1名	6日間	30	川崎商工会議所	1名	4日間
					合計	91名	

■ 2. 今年度の実施概要(2)

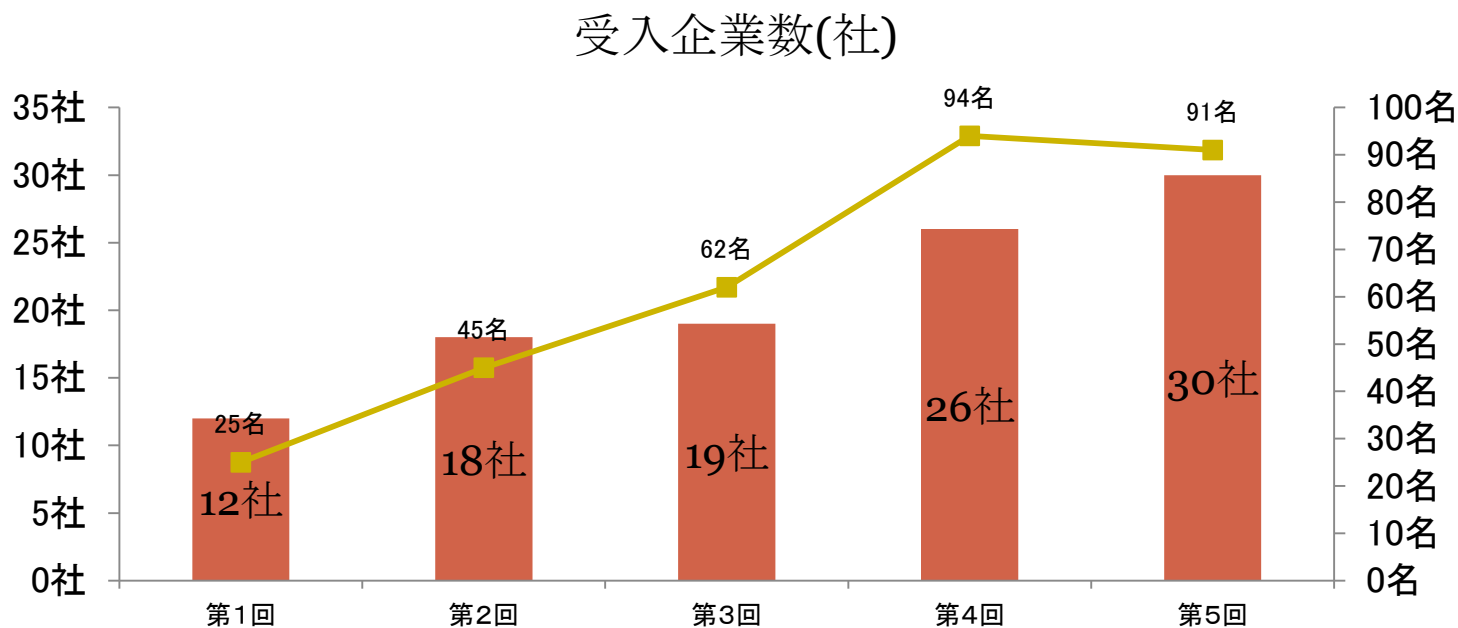
- インターンシップ参加大学(7大学)

No.	大学名	実習人数
1	昭和音楽大学	1名
2	洗足学園大学	2名
3	専修大学	12名
4	田園調布学園大学	1名
5	日本女子大学	4名
6	明治大学	54名
7	和光大学	17名
		91名



■ 2. 今年度の実施概要(3)

- 第1回～第5回の推移



	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
受入企業	12社	18社	19社	26社	30社
実習人数	25名	45名	62名	94名	91名

■ 3. 今年度のスケジュール

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
<p>★ 3/15～4/18 参加企業 募集開始</p>	<p>★ 4/28 <企業> 「概要書」 「計画書」 提出締切</p>	<p>★ 5/16 「概要書」 「計画書」 大学提出 学生募集 開始</p>	<p>★ 6/24 <大学> 「志願書」 提出締切</p>	<p>★ 6/30 「志願書」 企業提出</p> <p>★ 7/15 <企業> 受入学生 決定通知</p> <p><企業、大学> 受入決定後、実習までに 覚書、誓約書を締結</p>	<p>8/1～9/中旬頃 実習期間</p>	

■ 4. アンケート結果【企業編①】

< インターンシップへの参加目的とメリットは？ > 複数回答可

	項目	参加目的・動機
1	地域貢献活動	21
2	大学学生へのPR活動・広報活動の一環	8
3	社内・職場の活性化	8
4	学生の就業意識(目的・意向等)、考え方の把握	7
5	市内企業からの雇用・リクルート活動の一環	2
6	市内大学、学生との関係構築、相互発展	9
7	社員の意識向上・教育・スキルアップ	9
8	その他	0

- ▶ 「地域貢献活動」としてインターンシップに協力している。
- ▶ 学生に実のある経験をしてほしいので参加している。
- ▶ 川崎インターンシップ事業の他に年間12～13校を受け入れている。
- ▶ 学生の方に業界の在り方を学んでもらうため。



■ 4. アンケート結果【企業編②】

＜インターンシップを行うための取り組み＞

- ・事前ガイダンスで学生の希望聞き取り
- ・学生と年齢の近い社員を担当させる
- ・インターン期間中における部署間の連携強化
- ・事前に資料を送付し、学生の持ち味が活かされるよう配慮
- ・学生の参加目的が異なっているため、各部署や設備概要施設見学等、幅広いカリキュラムを検討した
- ・極力現場との接点を持てるようなカリキュラムを検討した



■ 4. アンケート結果【企業編③】

<事務の流れ・諸手続について>

- ▶ 事務手続きは、問題のないスケジュールだった。
- ▶ 諸手続きが確立されて問題の無い内容だった。
- ▶ 学生の評価シートを各大学で統一したフォーマットを使用してほしい。
- ▶ 志願書のフォームが統一されていると見やすい。
- ▶ 学生からの志願書の提出を1週間ほど早めてほしい。

<選考について>

- ▶ 学生の希望を優先させたい。
- ▶ 志望動機を直接把握したい。
- ▶ より意欲のある学生に参加してもらいたい。
- ▶ 基本的に希望者全員を受け入れる。
- ▶ 特殊な業種のため、専門的知識があるか確認したい。



■ 4. アンケート結果【企業編④】

< 学生の実習に対する取り組み姿勢について >

1	大変よかった	11
2	よかった	11
3	ふつう	4
4	よくなかった	1
5	悪かった	0

- ▶ 積極的でとても明るく元気があった。周りを明るくしてくれて大変良かった。
- ▶ 真摯で熱心な取り組み姿勢でした。
- ▶ 問題はなかったが意欲が感じられなかった。
- ▶ 話し方や移動中のマナーの改善が感じられなかった。

< 受入学生に求める資質・能力 >

- ▶ 責任感
- ▶ 積極性(何かを得ようとする習得意識)
- ▶ 目的意識(インターンシップに参加する目的の明確化)
- ▶ 協調性等のコミュニケーション能力
- ▶ ビジネスマナー(話し方等)



■ 4. アンケート結果【企業編⑤】

< 実習前後で、学生の就労意識の変化について >

1	大変向上した	9
2	やや向上	14
3	変わらない	0
4	分からない	3

- ▶ 現場の体験を通じて、刺激を受けているように感じた。
- ▶ 今後、「何をすべきか気付かされた」と言ってもらえた。
- ▶ 一連の業務の流れを理解してもらえた。

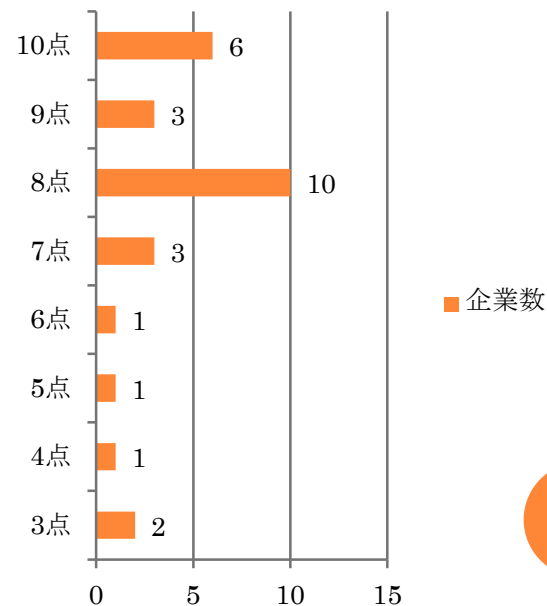
< 目標達成度 >

点数の高い企業

- ▶ 双方に充実感があつた。
- ▶ 実習計画通りに実行できた。
- ▶ 学生の意見を取り入れた実習ができ、意識向上に繋がった。

点数の低い企業

- ▶ 実習計画に改善点が多かったため。
- ▶ 学生の意識と実習計画がマッチングしなかったため。




■ 4. アンケート結果【大学編】

<事務の流れ・諸手続について>

- ▶ 学生をあせらせる事も無く、対応でき適切であった。
- ▶ 受入決定通知が早く、2次募集を考える余裕が出来た。
- ▶ 企業によっては、大学、学生両方に直接ご連絡いただき連絡がスムーズに進んだ。
- ▶ 未成年者学生の場合、親権者同意の誓約書が必要となるため、地方出身の学生の場合郵便等でのやり取りが発生し、郵便事故などのリスクがある。
- ▶ 震災の影響により、授業が予定よりも延びてしまい、実習期間と重複するため志望できない企業があった。

<学生に実習で身につけてもらいたい事 > 複数回答可

1	就職活動に対する心構え	1
2	会社や社会・業界への見識や知識	4
3	自分の適性や興味への理解	5
4	社会に出る自信	1
5	学習意欲の向上	3
6	就職を希望する業種・職種の実務能力	3

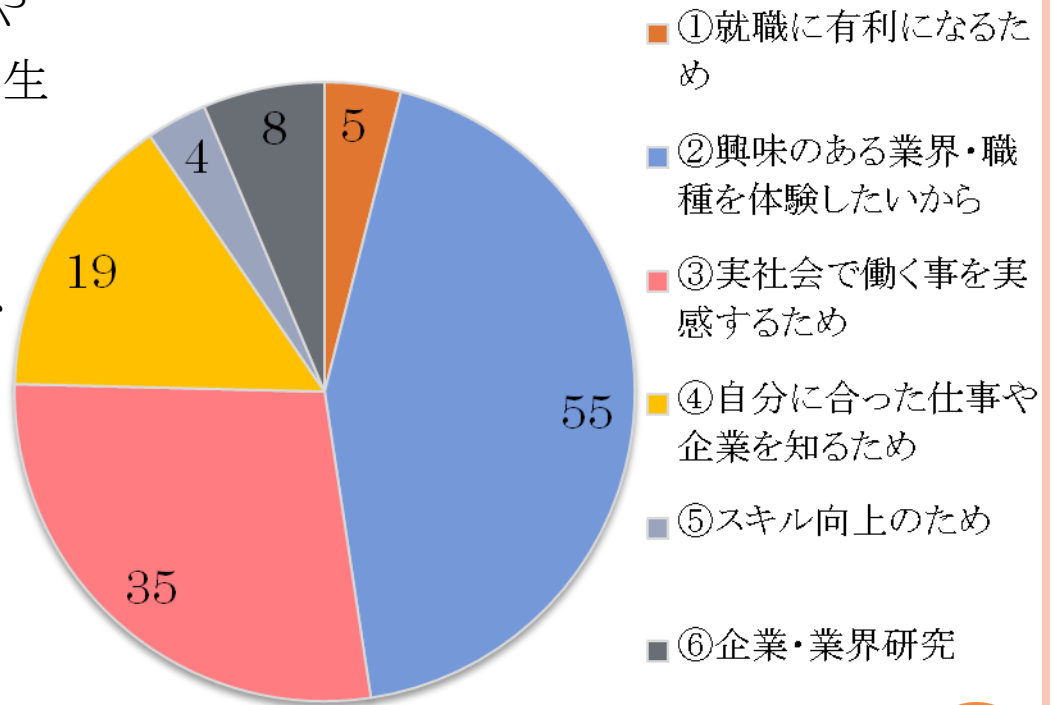
- ▶ 社会人になる心構え、働くことへの意識や意欲の向上。
 - ▶ 就業体験を通じ、学問への理解を深めて欲しい。
 - ▶ 自分の興味や強み、何がやりたいのかを発見して進路選択の一助として欲しい。
- 

■ 4. アンケート結果【学生編①】

＜インターンシップ参加理由＞ （回答者82名） 複数回答可

▶ 興味のある業界・職種での体験や
実社会で働く事を体験したい学生
が半分以上。

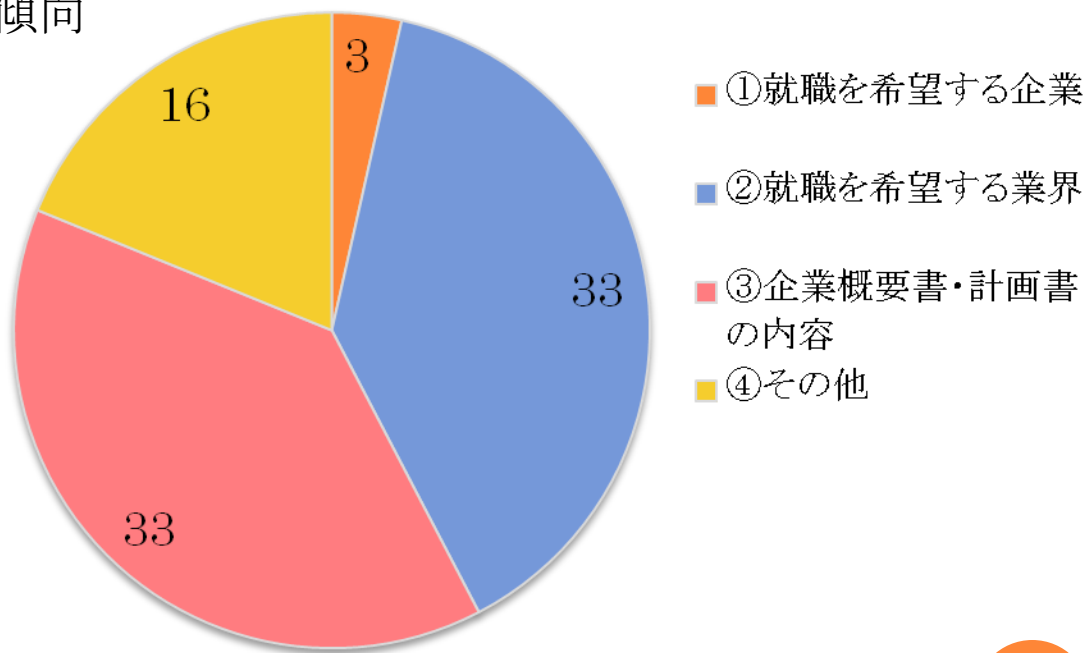
▶ 他に、就職ミスマッチを防ぐため、
会社や社員の方々の雰囲気を見
てみたかった、自分が興味があ
る業界だけでなく、全く違った
業界、職種を体験したかった等。



■ 4. アンケート結果【学生編②】

＜実習先企業を選択した理由＞ （回答者82名） 複数回答可

- ▶ 例年と同じく就職を希望する企業・業界を実習先として希望する傾向が高くなっている。
- ▶ 例年よりも、概要書・計画書の内容を見て志願した学生が増加している。



■ 4. アンケート結果【学生編③】

＜実習での得たもの＞ (回答者82名) 複数回答可

1	今後の就職活動に対する意欲が沸いた	32
2	会社や社会・業界への見識や知識が増えた	52
3	他大学の学生と交流を持つ事が出来た	24
4	自分の適性や興味がわかった	23
5	社会に出る自信がついた	3
6	就職活動の職業選択の幅が広がった	15
7	単位が取得できた	1
8	あまり効果を感じなかった	1
9	その他	3

- ▶ 働く事の楽しさを感じ、就職活動への意欲が沸いた。
- ▶ 様々な知識を得て、更に業界への関心が高まった。
- ▶ 社員の方からアドバイスにより、足りない点や伸ばすべき点を教えていただき、自分を客観視する事が出来た。
- ▶ 他大学の学生と交流を持つ事により、就職に対する考え方や情報を共有する事が出来た。
- ▶ 社内の人間関係が重要なものであるとわかった。
- ▶ 自分が想像していた業務とは違っていた。



■ 4. アンケート結果【学生編④】

<企業のイメージ変化>

(回答者82名) 複数回答可

1	イメージが良くなった	58
2	イメージが悪くなった	3
3	変わらない	11
4	その他	9

- ▶ 約71%の学生が「イメージが良くなった」と答えた。
- ▶ 「良くなった」を選んだ学生の意見は、
 - ・社内の雰囲気や社員の対応が良かった
 - ・マイナスイメージからプラスイメージに変化した。
- ▶ 「悪くなった」を選んだ学生の意見は、
 - ・業界の現状を知り、不安になった。
- ▶ 「変わらない」を選んだ学生の意見は、
 - ・企業研究・業界研究の通りだった。

<進路選択への影響>

(回答者82名) 複数回答可

1	変化した	39
2	変化しない	23
3	わからない	19

- ▶ 「変化した」を選んだ学生の意見は、
 - ・実習先と同じ業界に就職する事を考えるようになった。
 - ・進路について考え直すきっかけとなった。
 - ・他の業界にも視野を広げようと思うようになった。
- ▶ 「変化しない」を選んだ学生の意見は、
 - ・もともと志望業種であったため。
- ▶ 「わからない」を選んだ学生の意見は、
 - ・自分の行きたい業界がはっきりしていない。

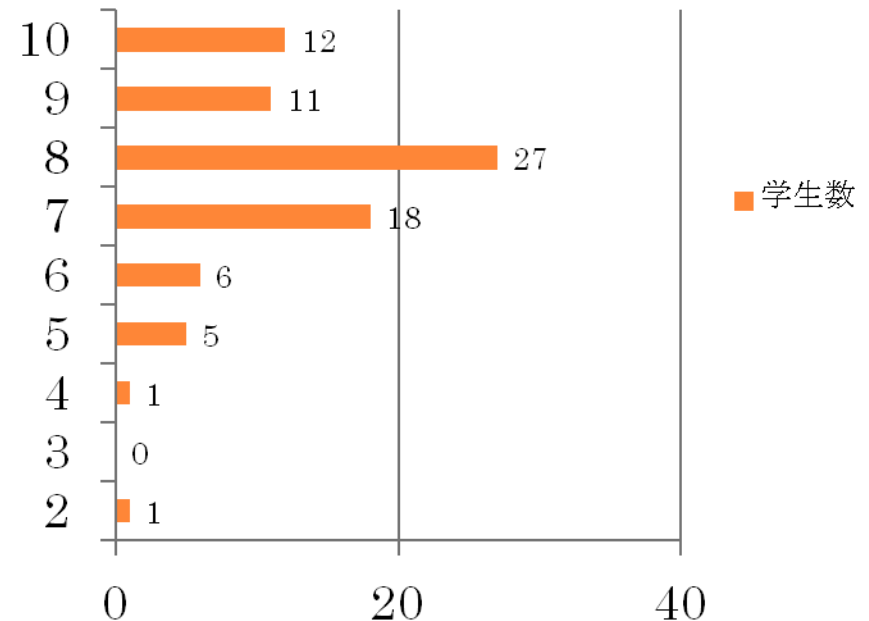


■ 4. アンケート結果【学生編⑤】

＜実習での目的達成度＞

(回答者82名)

- ▶ 点数が高い学生の意見は、
 - ・業界・企業内容の理解を深められた。
 - ・就職や今後の目標が明確になった。
 - ・就職活動に向け意識が向上した。
 - ・他大学との交流がいい刺激になった。
 - ・実習を通して自分なりのやりがいを見出した。
- ▶ 点数が低い学生の意見は、
 - ・積極性、前準備が足りなかった等。
 - ・実習内容が自分が予想していた内容と違っていた。
 - ・明確な目標を持って取り組めなかった。



■ 4. アンケート結果【当所編】

- ▶ 新規受入企業について(商社、製薬会社、食品関係、旅客運輸関係、出版・広告関係、介護関係、ブライダル関係、旅行会社、スポーツ関係、ホテル等)。
- ▶ 参加学生の事前レクチャーが必要ではないか？
- ▶ スケジュールについて、学生からの志願書提出を早めてもらいたい。
- ▶ イベントや企画が少ないため、実習期間を夏休み以外に設定出来れば、より充実した実習が出来る。
- ▶ 去年の実習内容、参加者の感想等を記載して欲しい。
- ▶ 志願書について、PCアドレスの記載を増やしてほしい。
- ▶ 受入概要書・計画書について、企業規模や従業員数などの詳細の記載。
- ▶ 志願書や評価書等の書式統一

